



インフルエンザの予防 感染管理認定看護師 川瀬 仁美

インフルエンザは、インフルエンザウイルスへの感染で発症し、38度以上の高熱や頭痛、倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状を示します。重症化すると、インフルエンザ脳症や細菌性の肺炎を合併する恐れがあります。特に、乳幼児、高齢者、妊婦や慢性的な病気にかかっている皆さんは、注意してください。

これから寒くなりますが、以下の予防対策を参考にし、季節を楽しみながら、健やかにお過ごしください。



【感染経路】

インフルエンザの主な感染経路は、くしゃみや咳などのしぶきに含まれているウイルスが、口や鼻など気道の粘膜に付着して発症する「飛沫感染」と、椅子やドアノブなどについたウイルスを触り、手からうつる「接触感染」があります。

飛沫感染



接触感染



【予防対策】

飛沫感染には、マスク着用が有効です。鼻からあごまでしっかり覆い、隙間が無いようにしましょう。接触感染には、手洗いが有効です。外出後、石鹸と流水で30秒以上しっかり洗いましょう。手指のアルコール消毒も効果があります。

また、流行前のワクチン接種が効果的で、免疫力が付くまで2週間程度かかりますので、早めのワクチン接種をお勧めします。当院でも、予約制でワクチン接種を行っておりますので、下記問合せ先に連絡ください。



【予約問合せ先】

医事課 0220-22-5511
(内線118)

※ 予約のお電話は、平日14:00から17:00までお願いします。

患者さん、ご家族の皆さんからの相談窓口を設けました！

入院中の不安
退院後の生活が心配
医療費や生活費などの経済的不安
誰に相談したらよいかわからない
福祉制度の利用方法
病院への要望 など

患者さんやご家族の皆さんからのさまざまな相談に応じるため、本館1階エレベーターの西側に患者相談窓口を設けました。

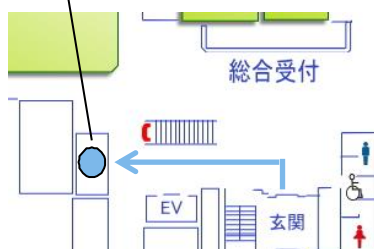
相談員は、医師、看護師、社会福祉士などで、各部門と協力・連携し、解決できるように調整を図ります。

相談時間は、平日8:30から17:15までです。どうぞお気軽に声をかけください。

主な相談員は地域医療連携室のスタッフです

患者相談窓口

【見取り図】



面会の皆さんへのお知らせ

面会の際には、感染症の予防のために、マスクの着用と、手指のアルコール消毒をお願いします。

登米市・栗原市の一部地区で、すでにインフルエンザが発症しております。今後のインフルエンザ等の流行状況により、面会禁止になることもありますので、ご理解のほど、よろしくお願いします。



次の症状がある方は
面会をご遠慮願います

発熱・咳・下痢・嘔吐などの症状がある方

ご家族で1週間以内に発熱(インフルエンザにかかった方など)した方がいる

中学生以下の方(高校生以上の学生でも学級閉鎖中の方)

宮城県内の「おとな救急電話相談」が始まりました

夜間や休日の急な病気やけがで、『救急車を呼ぶ?!』、『病院に行った方がいい?!』と、迷った時に看護師などから、応急処置や受診できる医療機関のアドバイスを受けられるようになりました。

電話 番号	#7119 (ﾌﾟｯｼﾞ回線、携帯電話)
	022-706-7119 (ﾌﾟｯｼﾞ回線以外、PHS)
相談 時間	平日(月～金曜) 19:00～翌日8:00
	土曜日 14:00～翌日8:00
	日曜・祝日 8:00～翌日8:00 (24時間)